

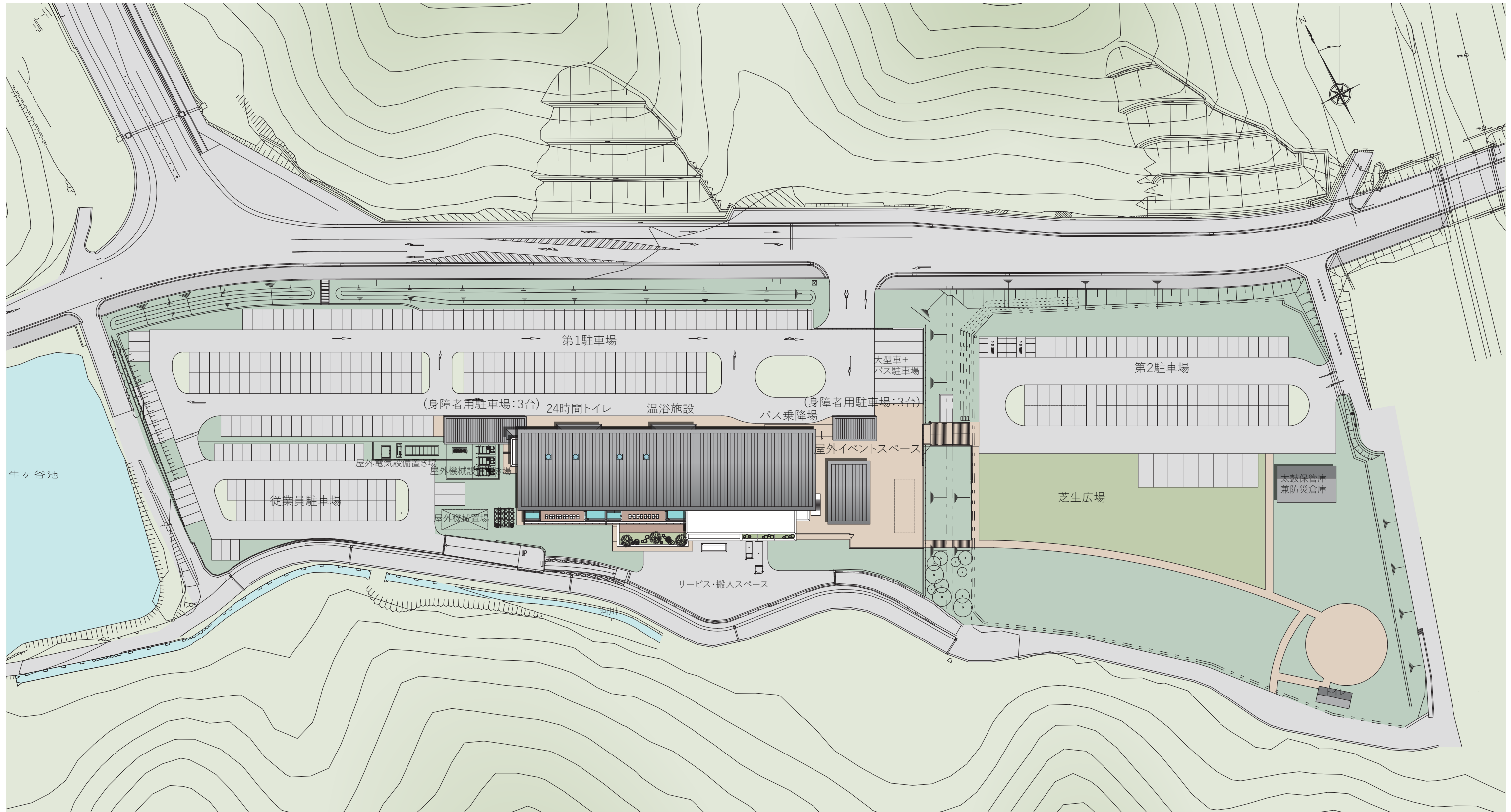
津 島 や す ら ぎ の 里 再 整 備

基 本 設 計 概 要

令 和 5 年 3 月

1 基本方針

地域住民の日常の憩いの場となると同時に、市外から集客ができる「目的施設」として、魅力ある温浴施設と特産品販売、レストランなどを併設する複合的な道の駅を整備します。



2 動線計画

① 一般車両 →

北側の主出入口(第1駐車場)、及び北東の出入口(第2駐車場)を利用した利便性の高い計画とします。

② 大型・バス車両 →

大型・バスの乗降場と駐車場を主出入口付近に設けることにより、動線の短縮化が図られます。

③ サービス車両・従業員車両 →

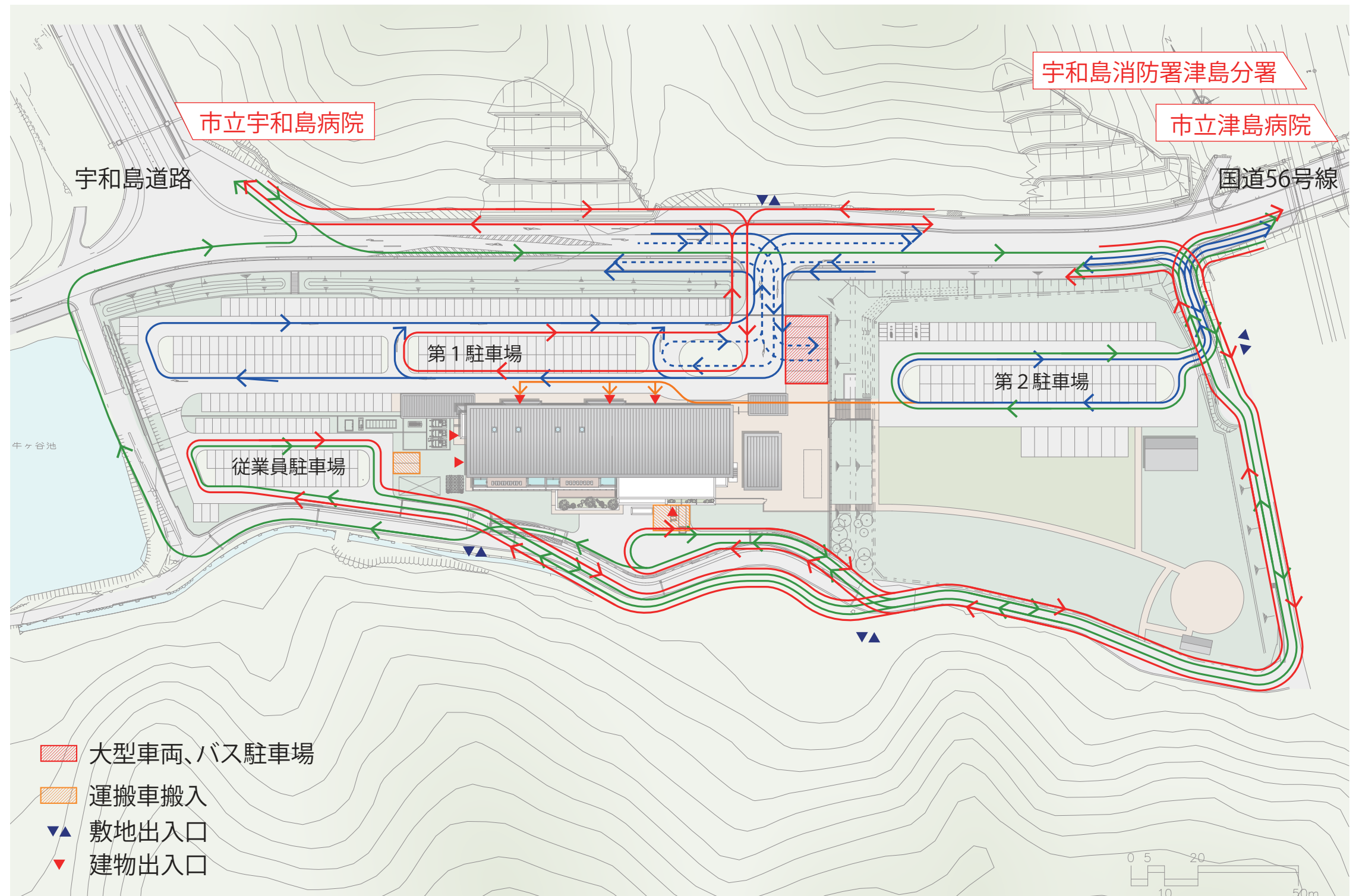
一般車両と交差しないよう敷地の南側から進入し、混雑を避けます。

④ 緊急車両 →

緊急車は敷地の北側と南側の両方からアクセスでき、それぞれ対応した動線計画とします。

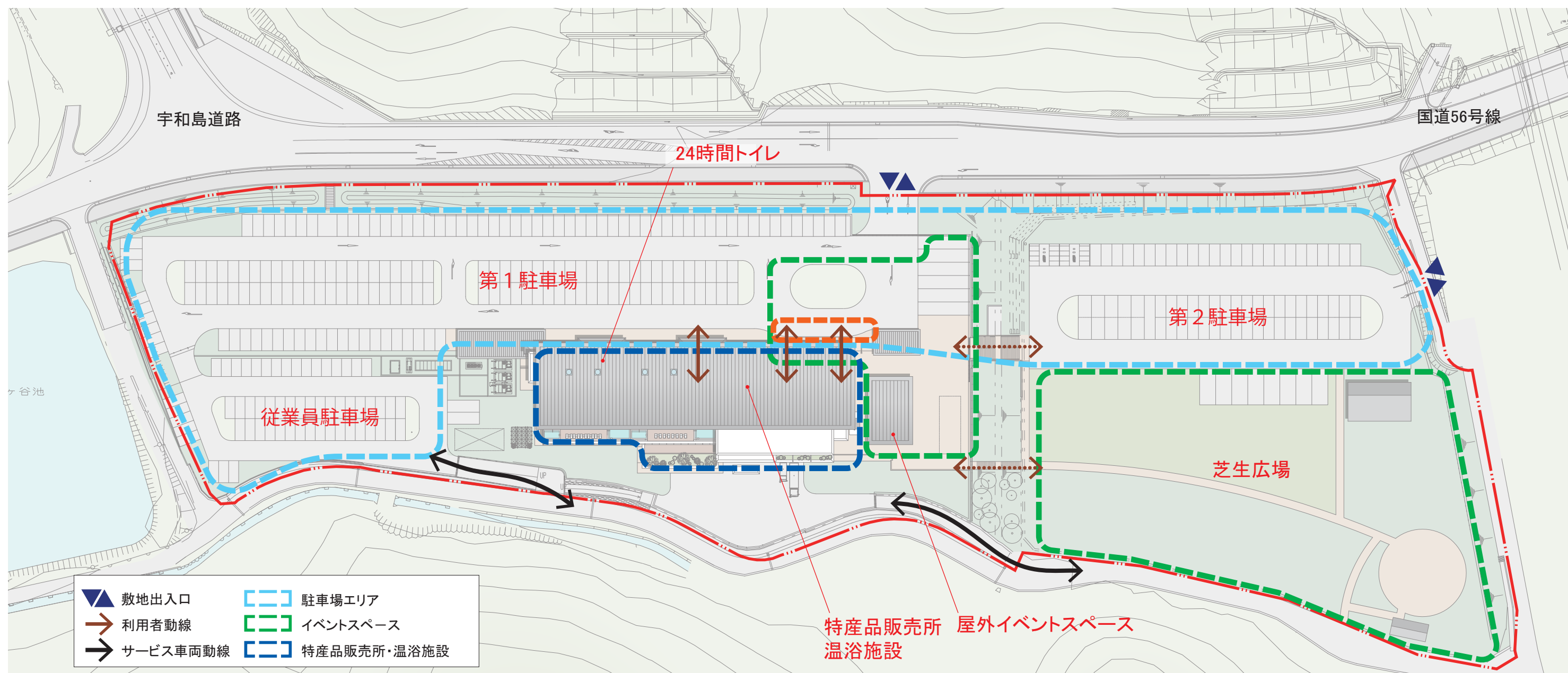
⑤ 歩行者 →

施設利用・アクセスの利便性向上のために、温浴施設、特産品販売所にはそれぞれ独立した出入口を設けます。



3 配置計画

- ① 利便性の高い駐車場配置
全面道路から直接アクセスできる駐車場を第1駐車場(主駐車場)として設定します。東側のエリアは、第2駐車場などのスペースとして利用します。南西のエリアは主に従業員駐車場とし、動線的に合理的な計画にします。
- ② 建屋の配置
道の駅という機能を考慮し、敷地の南側中央に寄せて、第1駐車場からアクセスしやすい位置に配置します。
- ③ サービス機能の配置
貨物・物資の搬入やメンテナンスの動線・機能は、施設の裏側に設定し、利用者の視線に入らないように計画します。
- ④ 特産品販売所の東側には屋外イベントスペースと芝生広場を設け、イベントなどの催し物に対応できる計画とします。



4 施設構成

□ 明快な動線の分離と施設間利用の促進の施策

温浴施設、24時間トイレ、特産品販売所ごとに、玄関を独立させることで内部動線を分け、動線どうしの交差や混在を避けるようにします。同時に、隣接する機能へ直接アクセスできるような、利便性の高い動線計画とします。

① 明快な施設機能配置

主要機能となる、温浴施設、24時間トイレ、特産品販売所、屋外イベントスペースの各機能を、東西に長い敷地形状に合わせて並列配置し、それぞれ独立した玄関を設定します。

施設南側中央部には広い搬入エリアを設けます。

② 2階に配置する温浴施設

2階に配置された温浴施設は、1階の利用者の視線から切り離され、プライバシーの高い温浴環境に配慮します。

市民ワークショップでの「車いすが通れるようにしてほしい」という意見を参考に、ロビーから直接利用できる階段とエレベータを配置することで、高齢者や車いす利用者、小さいお子様のいるファミリー層の利便性を高めます。

□ 市民ワークショップの開催

令和4年9月10日に、岩松公民館で「津島やすらぎの里再整備住民ワークショップ」を開催しました。

その時点での基本設計案を基に、グループに分かれてアイデア出しを行いました。

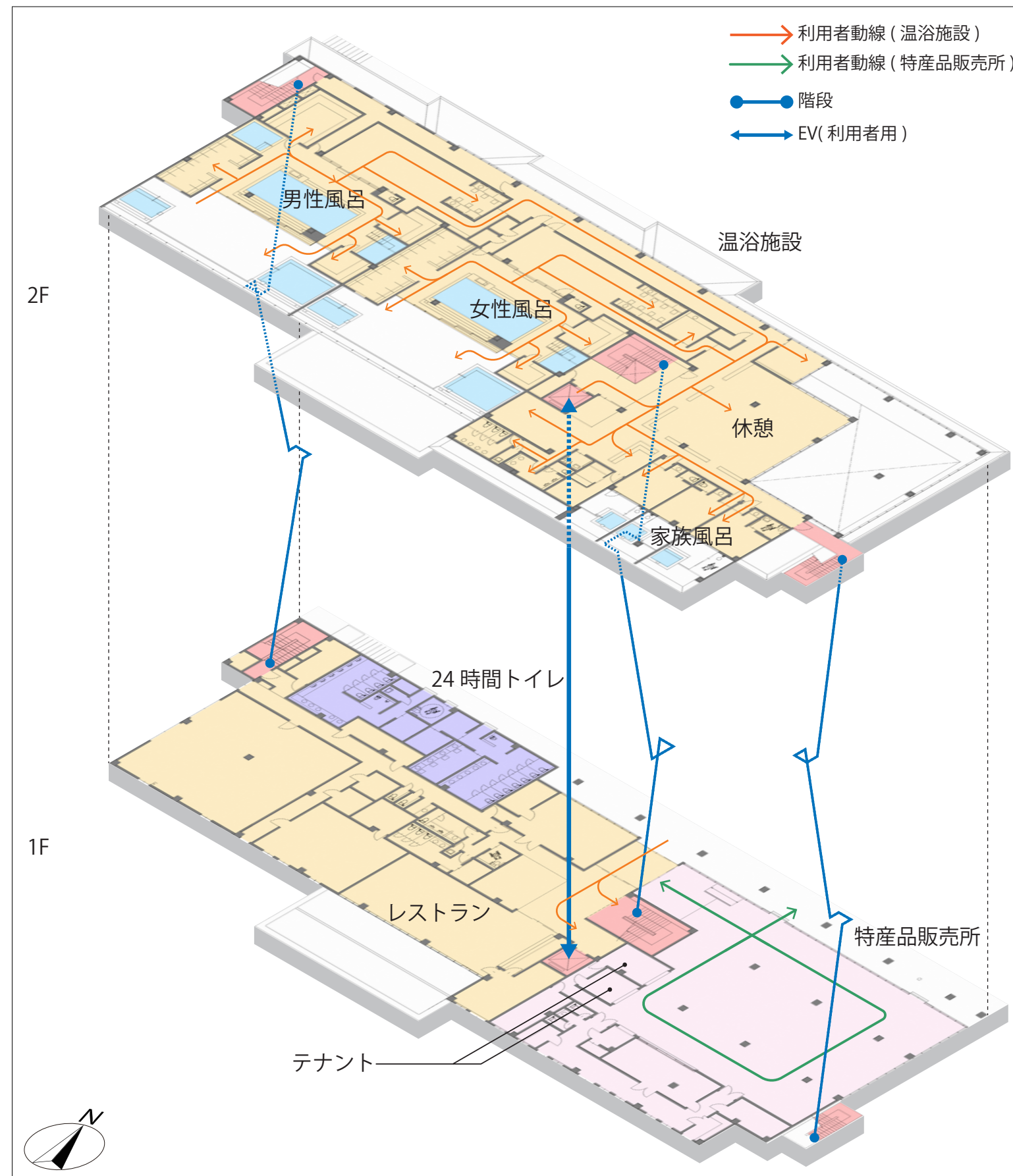
様々な視点からのご提案やご意見を設計の参考とさせて頂きました。



市民ワークショップの様子

□ 動線計画ダイアグラム

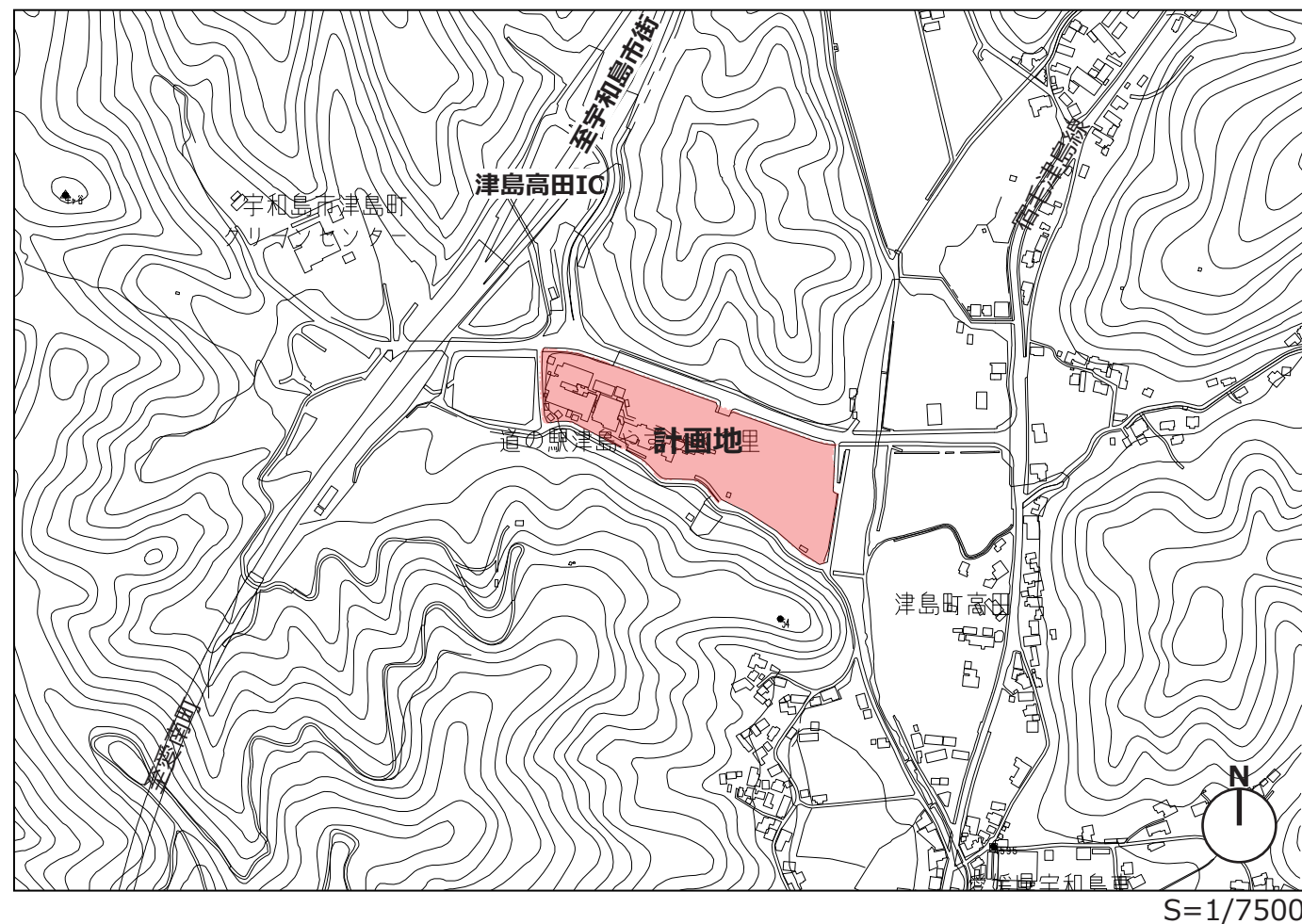
温浴施設、特産品販売所、イベントスペース、トイレは、各々の動線を独立させ、人流の交差を回避します。



5 施設概要

用途	特産品販売所（物産店舗）、温浴施設、トイレ（24時間開放）、駐車場
建物階数	地上2階建
建物構造形式	鉄筋コンクリート造
建物基礎形式	杭基礎支持方式
建物延床面積	約3,200㎡
防火形式	耐火構造建築物
駐車台数	自動車 約310台、自動2輪車専用 約16台
事業費	約29.00億円

□案内図



機能	概要	面積
温浴施設	【男性風呂】浴槽は内湯1ヵ所、露天風呂2ヵ所です。旧施設から利用者が多かったサウナは3室に増室し、それぞれ異なる機能のサウナとします。これに合わせて水風呂も2ヵ所に増設します。 【女性風呂】浴槽は内湯1ヵ所、露天風呂2ヵ所です。サウナは機能が異なる2室を設置します。女性の利用者に配慮し、脱衣所、化粧室及び洗い場はゆったりと利用できるよう広く設計しています。 【家族風呂】家族風呂を3ヵ所設置します。そのうち1ヵ所は広めの設計とし、車いす利用の方にも配慮した設計としています。	約1,900㎡
レストラン	温浴施設、特産品販売所、休憩など全ての方が利用しやすいよう施設1階の中央に配置しています。	約170㎡
特産品販売所	旧施設よりも売場やバックヤードを広くし、利用者、出荷者ともに利用しやすいようにしています。飲食テナントを配置し、購入した物をその場で飲食できるイートインスペース機能も持たせます。	約650㎡
管理諸室	温浴施設の機械室を1階に配置して配管を露出化するなど、メンテナンスしやすいよう配慮しています。	約300㎡
24時間トイレ	24時間利用が可能なトイレを設置します。男女それぞれにオムツ室や小児トイレを配置するほか、オストメイト対応の多目的トイレを設置します。	約150㎡
屋外イベントスペース	建物の東側に屋根付きのイベントスペースを設置します。多様な催しの開催が可能な空間とし、賑わいを創出します。	
駐車場	第1駐車場は240台、第2駐車場は70台、計310台が駐車できる計画です。屋根付きの身障者用駐車場は温浴施設入口付近と特産品販売所入口付近に分け、利便性を向上させています。	

のびやかな屋根と安定感のある現代的な外観。内装は木材を使用した和風テイストとします。



清潔感があり明るい空間的な広がりのある特産品販売所。



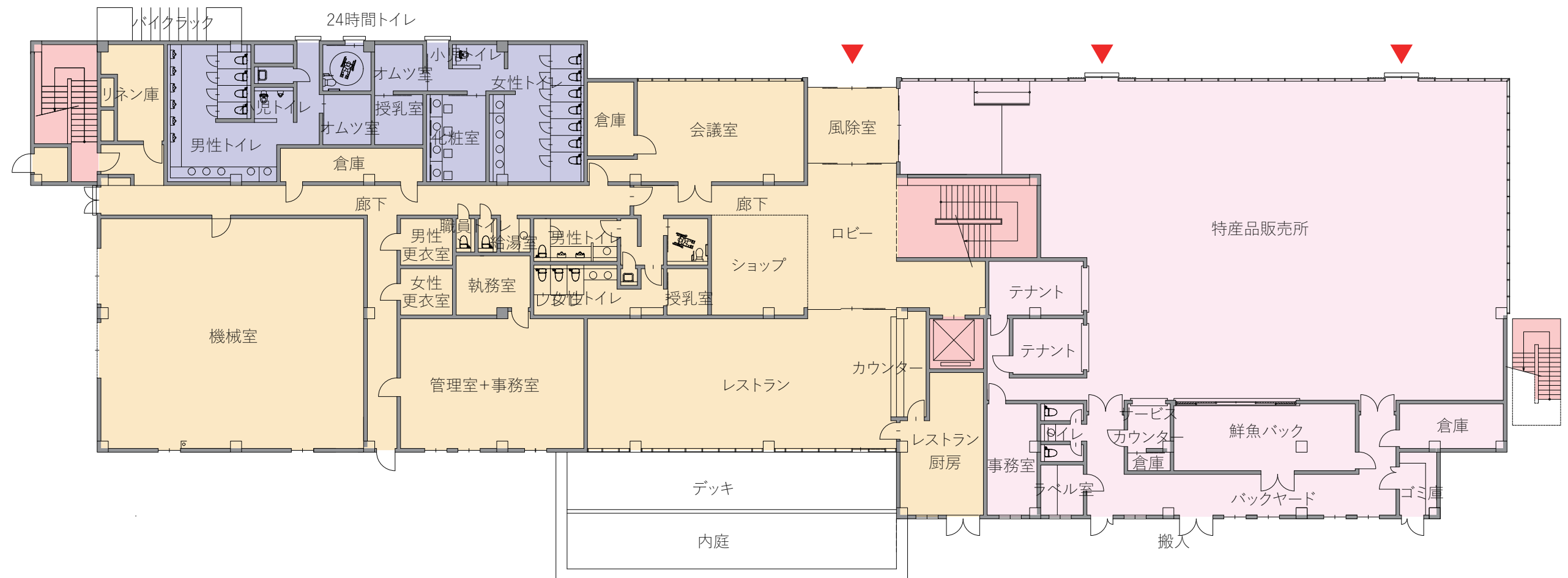
2階からの開放的な空間でゆったりと温泉に浸ることができる、テラスでは露天風呂と外気浴を楽しめます。



南側が開放的に広がり自然光を取り入れた落ち着いた温泉。内湯と露天風呂のほか、サウナを充実させます。

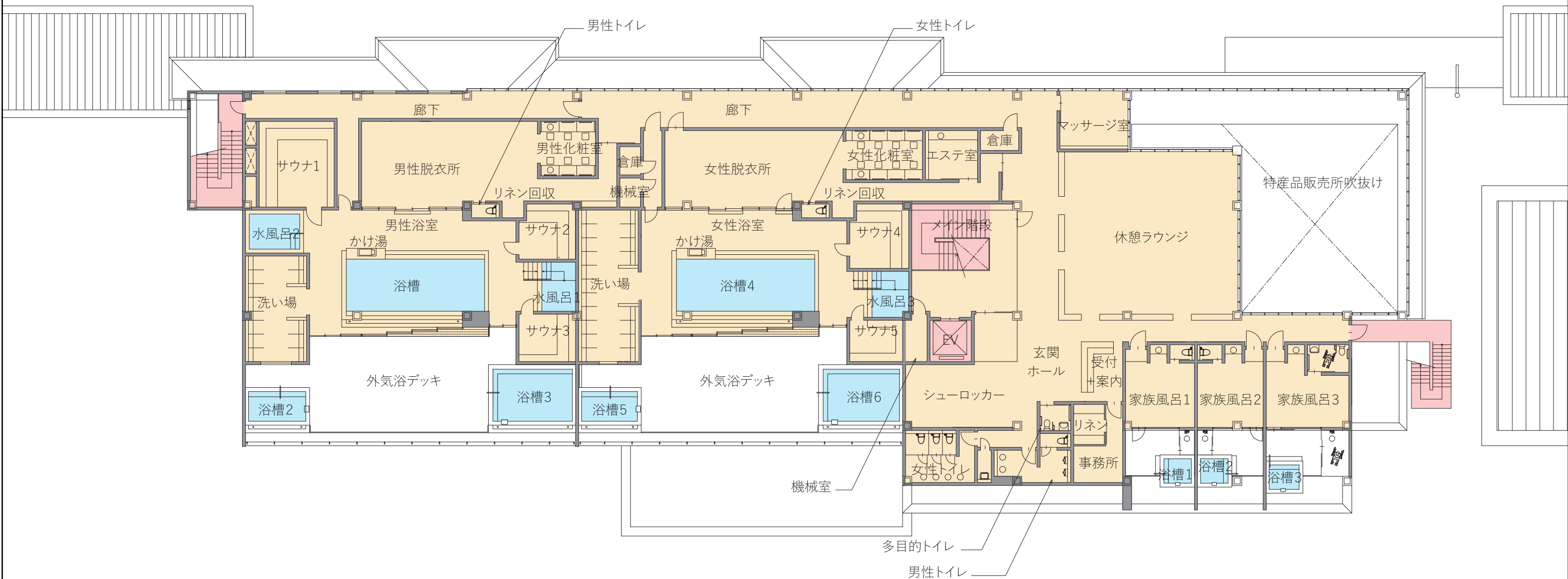


- 温浴施設
- 特産品販売所
- 24時間トイレ
- 階段、EV
- 利用者出入口



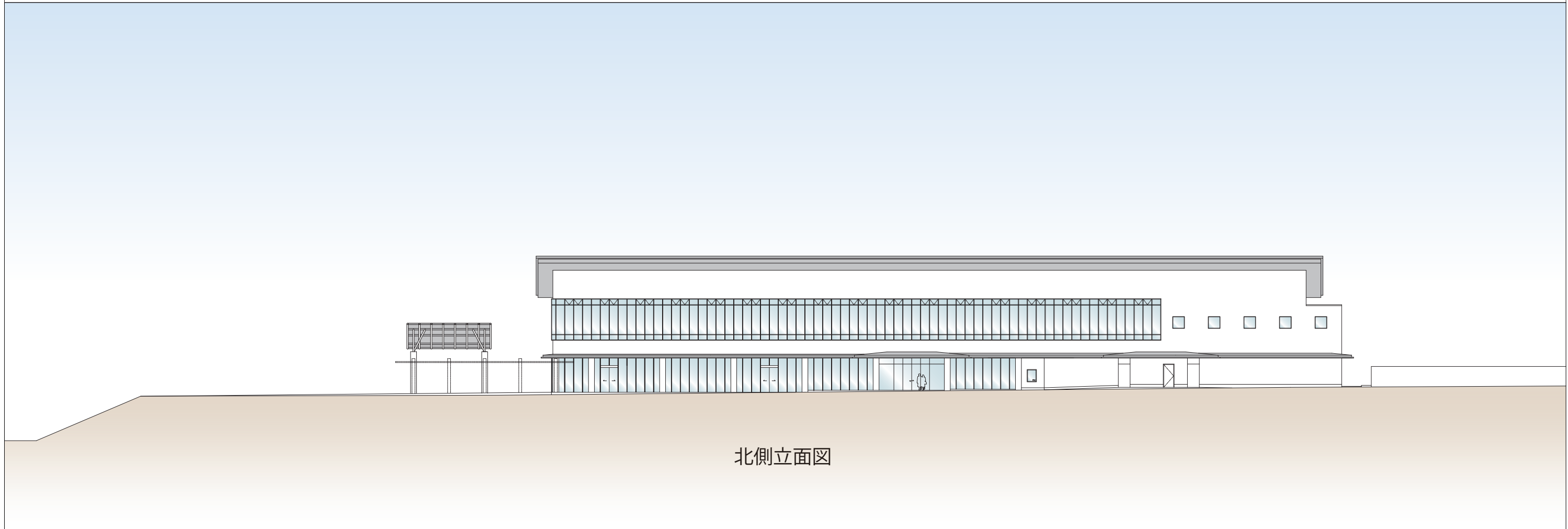
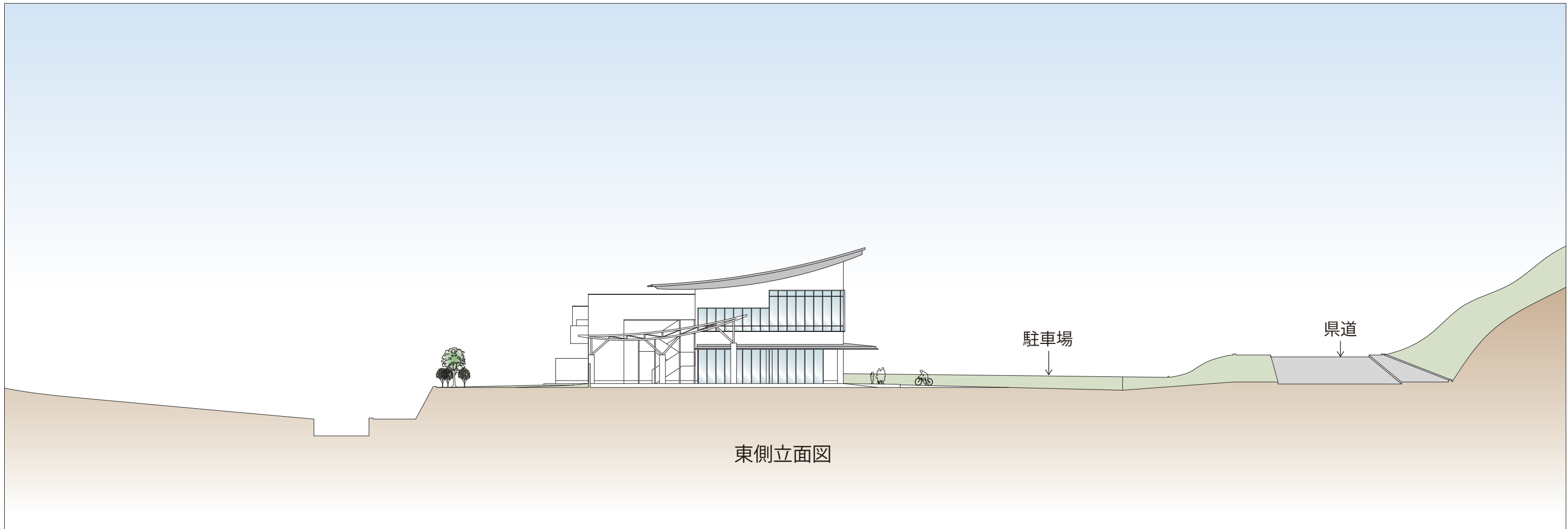
1階平面図

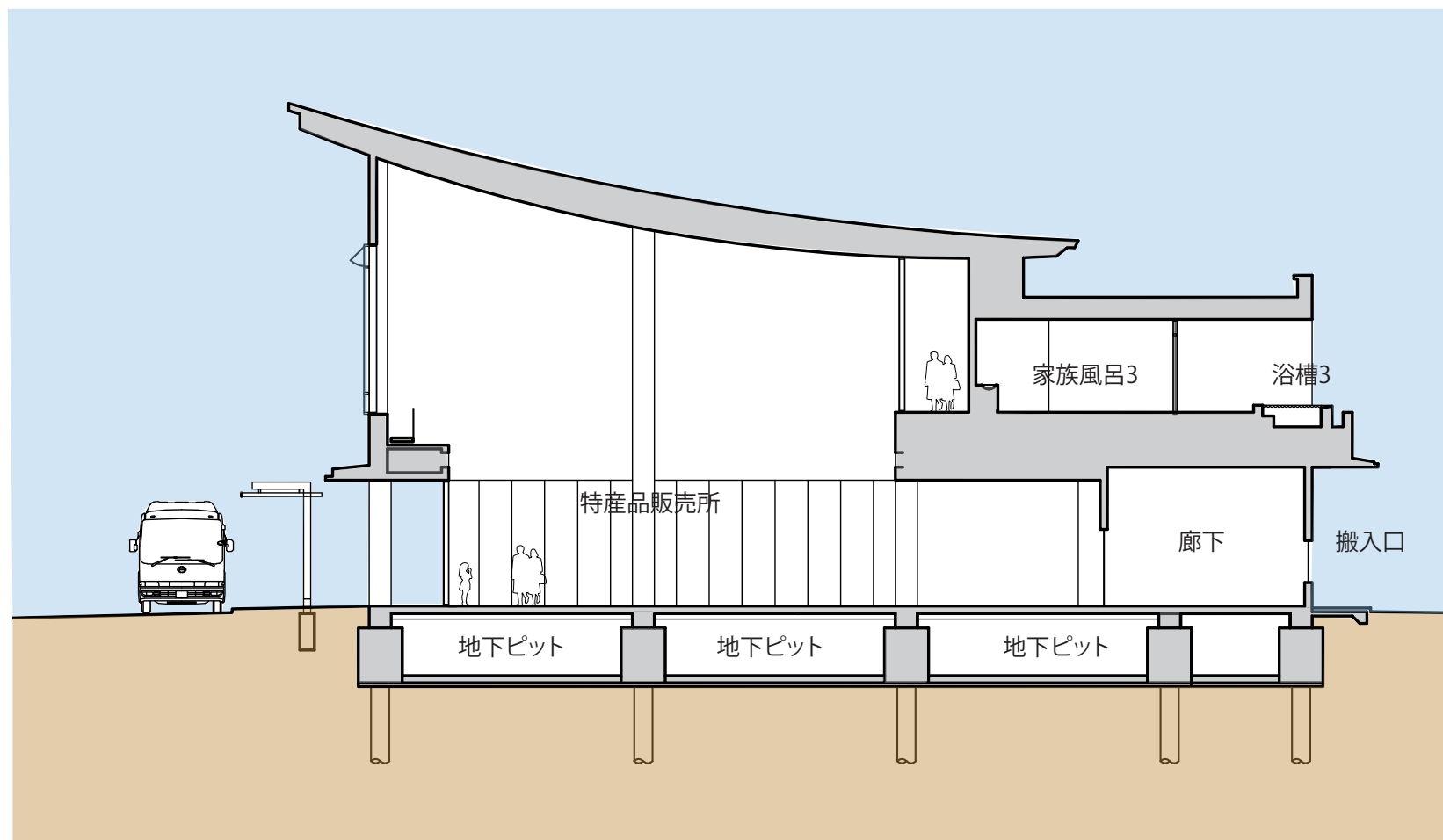




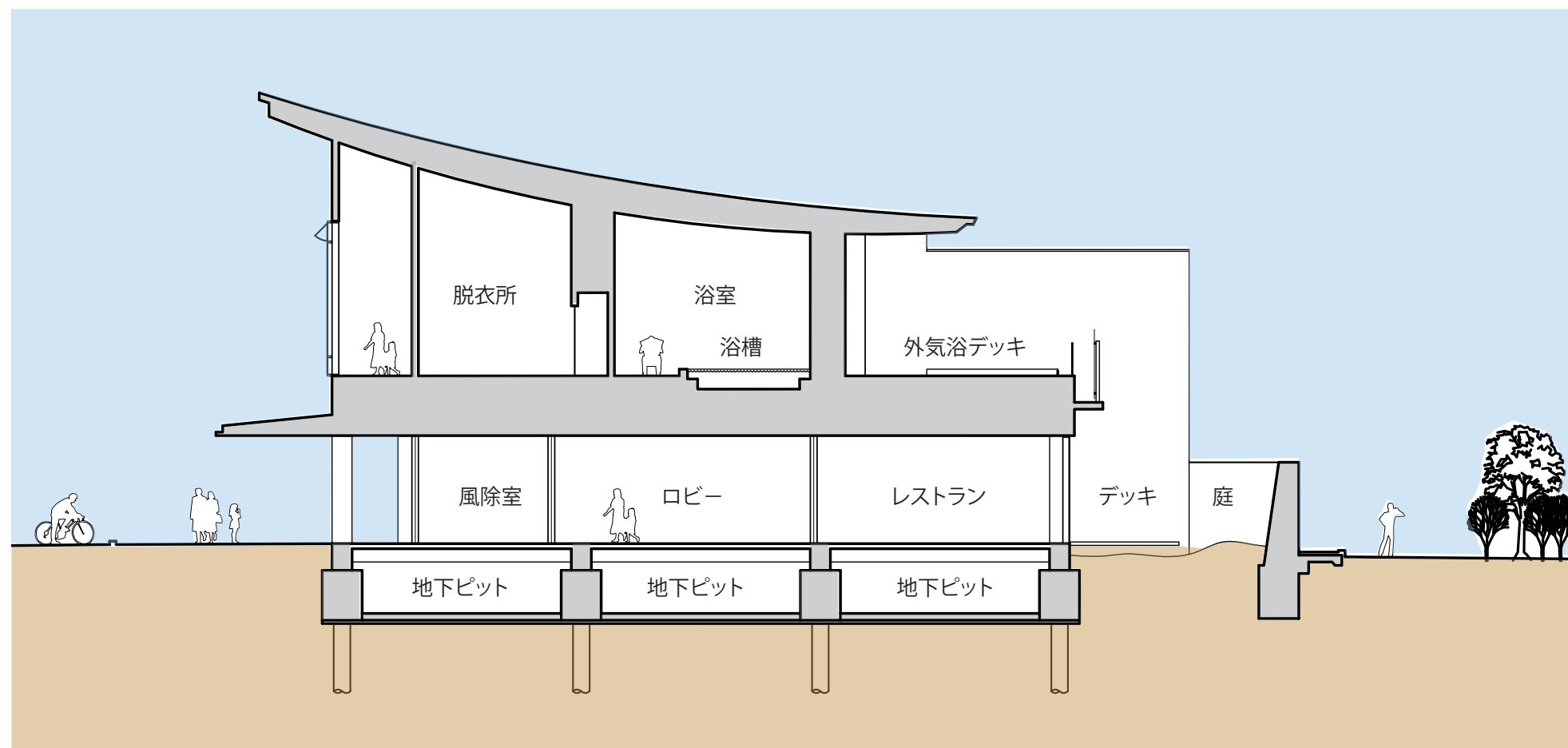
2 階平面図







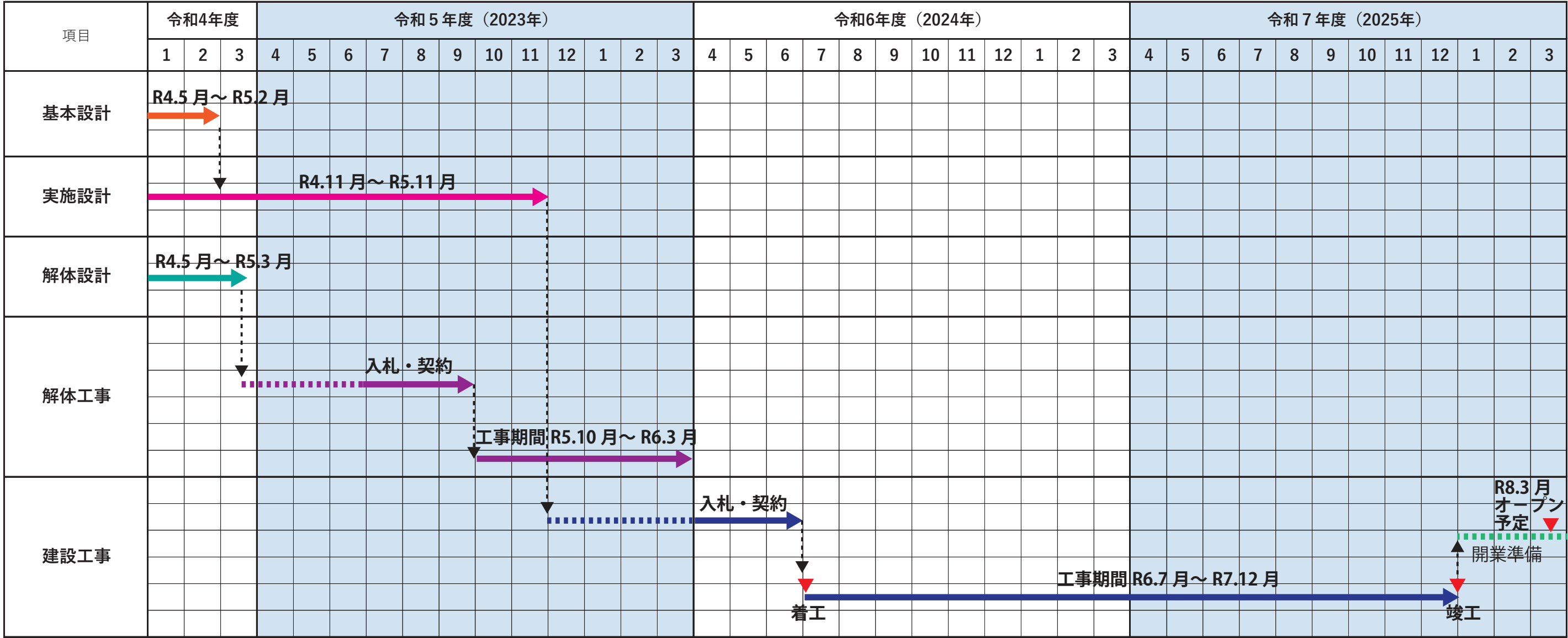
特産品販売所／家族風呂 断面図



エントランス／浴室 断面図

6 建設整備スケジュールと概算事業費

□6-1 建設整備スケジュール



□6-2 概算事業費

項目	概要	事業費（百万円）		備考
1	建築	1,083	2,349	建物本体工事費用
2	電気設備	227		
3	機械設備	857		
4	外構	182		
5	解体	166		既存建物解体費用
小計		2,515		
6	消費税	251		
工事費合計		2,766		
7	設計・工事監理等費用（税込）	134		設計・工事監理費用等
総合計		2,900		

※再整備に要する財源には、過疎債の借入れを予定しています。

借入れの償還に対し、70%の交付税措置があり、市の実質的な負担は30%となります。

事業費が29億円の場合、その30%の約8億7千万円程度が市の実質的な負担額となります。